

## Ⅱ 議会運営に関する意見、要望等

- ( i ) 議会基本条例に関すること
- ( ii ) 議会改革に関すること
- ( iii ) 議員定数・報酬に関すること
- ( iv ) 震災を踏まえた選挙に関すること
- ( v ) 議会報告会に関すること
- ( vi ) 震災に対する議会の対応に関すること
- ( vii ) 政務調査費に関すること
- ( viii ) 女性農業委員に関すること
- ( ix ) 議員活動に関すること



( i ) 議会基本条例に関すること

No. 1

**意見・質問・要望等** 議会基本条例を制定して、新しいことを始めたように見えるが、これまでやるべきことをやってこなかっただけではないのか。乗り遅れないようにつくっただけではないのか。報道では、「基本条例制定後、何も機能していない自治体がある」ということだが。【東根地区】

**当日の回答と現状** これまでの議会慣例を破るためのルールです。角田市の場合は条例制定前から、会派の縛りを外し議員個人の意見を戦わせる自由討議や議会報告会など、条例づくりに先行して実践することから始めました。

No. 2

**意見・質問・要望等** 議会報告会に初めて参加しました。議会基本条例を制定したことは、大変良いことだ。新しい取組みが資料に書かれているが、是非どんどんやってほしい。「角田市議会が生まれ変わる」ということだが、議会の最終的な目標は、議員が活動することで、最終的に一人ひとりの市民も変わっていくということだと思います。議会が何をするかではなくて、一人ひとりの市民が角田市のために何が出来るかを考える時に、初めて到達されるのだと思います。【角田地区(中央ブロック)】

**当日の回答と現状** 貴重な有難いご意見を頂戴しました。

No. 3

**意見・質問・要望等** 議会基本条例を制定して変わったことは具体的にありますか。【角田地区(南ブロック)】

**当日の回答と現状** 議会報告会や一般会議などのように市民が参加する会議の制度化や本会議等での反問権の導入、議員間の自由討議を行うようになりました。これからも市政の課題に適切かつ迅速に対応するため、議会改革を継続的に行います。

( ii ) 議会改革に関すること

No. 4

**意見・質問・要望等** 議会改革検討会議を4回傍聴したが、もっと市民の声を正面から受け止めて、正面から取り組んで欲しいと思った。深い議論が少なかったようだ。【小田地区】

**当日の回答と現状** 議会から市民にアンケートしたところ、議員の人数が多いとの答えが55.5%あったので、それに応えたいとの思いがありました。各会派内では、いろいろな議論がありましたが、結果的には1名の削減となりました。

( iii ) 議員定数・報酬に関すること

No. 5

**意見・質問・要望等** 議員定数について19人から18人になった理由は分かりました。議員報酬についてはどのような議論がされたかお聞きしたい。【藤尾地区】

**当日の回答と現状** 何回となく議会改革検討会議で審議いたしました。検討会議の中で、報酬カットではなく定数削減でまとめました。定数については現状維持の意見もありました。また、今年度は政務調査費を復旧・復興に活用してほしいと返納した経緯があります。  
今後も社会的な状況変化に対応して、議員間で議論して参ります。

No. 6

**意見・質問・要望等**

議員定数は一般市民の意見を受けて、自主的に1名削減したとのことだが、もう少し減らしてもいいのではないかとの感想を持った。賛成、反対それぞれの討論の要旨の報告があったが、日本共産党議員団提案の議員歳費5%削減も一緒に提案すれば良かったのと思った。

8月定例会において、共産党議員団の提案議員報酬の5%削減等が可決されるよう希望する。【角田地区(中央ブロック)】

**当日の回答と現状**

議員定数条例については、市民アンケート等を実施し議員定数を削減すべきという市民の声を受けて、その趣旨に賛同する議員で発議しました。何人削減すべきかということについては、意見が分かれたが、結果、1名に落ち着きました。この1名という数は、多くの議員が賛同していただける数であり、大幅な定数削減をすれば、議員の役割が果たせなくなることや、3つある常任委員会の活動の充実も重要であり、1常任委員会当たり6名で、18名とし、1名削減としました。

それに対し日本共産党議員団が、議員定数削減は民意の反映の低下をきたすので、削減をせずに、①議員報酬月額5%の削減②期末手当の15%割増算率を廃止することにより、1名削減(約541万円議会費削減)より年間855万円の議会費が削減される。このことが、市民の負託に応えるものと考え、反対討論しました。

その後の8月定例会において、日本共産党議員団から『角田市議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について』の議案が提出されましたが、賛成少数で否決されました。このテーマについては、今後も引き続き検討して参りますが、「経費節減を選ぶか」、「市民の声を吸い上げる機会を減らすか」ということを市民の皆さんと議論して判断していきたいと思ひます。

No. 7

**意見・質問・要望等**

政務調査費よりも、議員報酬を減らす選択肢は無かったのか。【角田地区(西・北ブロック)】

**当日の回答と現状**

何らかの形で災害復旧財源に捻出できないかという観点から検討した結果、この1年は政務調査費を使わないでいく事とし、報酬は現状のままとすることでまとまりましたが、その後、8月定例会で日本共産党議員団が報酬5%カットの議案を提案するという動きもありました。

No. 8

**意見・質問・要望等**

定数何人が良いのか分からないという事だが、必要な議員数は何人なのか。仕事量に対して何人という計算をするべきではないか。【角田地区(西・北ブロック)】

**当日の回答と現状**

市民に説明できる根拠も示さなければならぬと思ひます。今後さらに検討していきたいと考えておりますので期待してください。

No. 9

**意見・質問・要望等**

①議員数をもっと減らしてほしかった。改革というのは、良い方向にもって行くべきで、もっと減らして欲しい。他市町村の例を見るとか、人口に対して比較し、角田は2~3人減らして欲しかった。

②報酬のほかに1日出席すると1万円もらっているのなら、5千円にするとかにして欲しかった。役に立たない議員はいりません。【北郷地区】

**当日の回答と現状**

①議会の機能を保つため、1名減にとどまった。

②角田市議会議員は、費用弁償について、随分前から支給されておられません。

<b>No. 10</b>	
<b>意見・質問・要望等</b>	人口により議員定数は決まっているのか。【北郷地区】
<b>当日の回答と現状</b>	人口5万人未満は議員の定数の上限が26人と法律で決まっていますが、本年8月に法律が改正となり、人口による議員定数のしぼりはなくなりました。
<b>No. 11</b>	
<b>意見・質問・要望等</b>	議員間で議論したのでしょうか、議員報酬を課長級まで上げて、若い人でも議員になれるよう話は出なかったのでしょうか。【角田地区(田町・東ブロック)】
<b>当日の回答と現状</b>	残念ながら今回はそのような話は出ませんでした。議員定数につきましては今後とも引き続き検討して参ります。
<b>No. 12</b>	
<b>意見・質問・要望等</b>	財政的に逼迫しているので、日本共産党議員団の議員報酬を下げる案も良い案として聞きました。年金暮らしや一般の人のことを考えると、報酬減も良いと思う。【北郷地区】
<b>当日の回答と現状</b>	今後も議会改革検討会議の中で審議していきます。
<b>No. 13</b>	
<b>意見・質問・要望等</b>	議員定数が19人から18人になったと聞いたが、その経緯について何う。又、減員に関する賛否状況を教えてほしい。【角田地区(西・北ブロック)】
<b>当日の回答と現状</b>	経緯としては、アンケート結果、区長会からの要望書などを踏まえ、改革検討会議を5回ほど開催したのだが、意見が2つに分かれました。明確な基準が無いため、他市と比較するぐらいしかなく、会議の中では合意に至ることができませんでした。その後、有志の議員で「1名削減」の議案を発議し、賛成多数で「1名減」することになりました。
<b>(iv) 震災を踏まえた選挙に関すること</b>	
<b>No. 14</b>	
<b>意見・質問・要望等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①震災を踏まえた選挙運動のあり方について、経費節減すべきである。</li> <li>②市議会議員選挙に出馬する議員がまとまって演説会をしてほしい。</li> <li>③選挙運動は従来通りで良い。また、投票率を高くする努力をしてほしい。議員定数を30人に増やし、報酬を半分にして、民意を広く拾うべき。【横倉地区】</li> </ul>
<b>当日の回答と現状</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①議会改革検討会議で検討しましたが、まとまりませんでした。現在、議員有志で検討し、自粛型選挙を行いました。角田市においても甚大な被害を受けていますので、財源確保のためにもそのようにしたいとの意見から行われました。</li> <li>②やり方について検討しましたが、議員自らが直接実施するのは、公職選挙法上の制約もあり、実施できませんでした。</li> <li>③角田市は、議員定数の上限が26人と法で定まっています。次の選挙から議員定数は18名となります。色々な考え方があるので、貴重なご意見として承ります。</li> </ul>

No. 15

**意見・質問・要望等**

議員方が検討した「角田市議会議員選挙のあり方について」の中の自粛内容は、新たに立候補する方にも周知したもののなのか。皆さんだけの取り決めなのか、お聞きしたい。【角田地区(中央ブロック)】

**当日の回答と現状**

新人候補者の方にも自粛型で取り組みますということは伝えました。選挙費用については、公職選挙法で認められている公費負担があります。この度、趣旨に賛同した議員は公費負担分を請求しません。この取り組みは、強制するものではなく、「やらないからどうだ、やったからどうだ」というものではありません。個人の責任の中で、選挙運動の自粛を実施します。例えば、選挙カーで名前を連呼するのではなく、街頭から自分の政策等を訴えるのに通常の車にスピーカーを取付けるなどして実施しました。

No. 16

**意見・質問・要望等**

①震災を踏まえた選挙活動の在り方に関して、連呼、公費請求の自粛・辞退はいかがなものか。

②選挙の在り方だが、新人候補に不平等にならないようにするのが当たり前だ。【角田地区(西・北ブロック)】

**当日の回答と現状**

①震災後の選挙運動の在り方として、どんな方法があるかを検討の上実施したものです。これについても、議員それぞれの考えで行ったものです。

②公職選挙法に基づき、選挙運動の拘束はしません。有志議員の自粛型選挙については、新人の方にも伝えました。

No. 17

**意見・質問・要望等**

自粛型の選挙は、どんなことをするのか。議員の間でどのような話し合いがあったのか。誰がやるのか。【桜地区】

**当日の回答と現状**

19名中14名の議員が自粛型の選挙を行いました。①被災者、避難者に配慮し、今までのように選挙車にやぐらを組み、看板を載せ名前を連呼するやり方はやめましょう。②街頭演説等を行って政策や考えを訴えて行くやり方を行いましょう、という考えです。公費を使わずに行いたい。経費のかからない選挙を行い、その分を被災者支援に使ってもらいたいとの考えです。残りの5名は今までどおりの選挙を行いました。公職選挙法で認められているので、皆を拘束することは出来ない。あくまでも有志で自粛型の選挙を行いました。

議会基本条例にある議会改革検討会議において、被災者、避難者への配慮と出来るだけ復興費の財源を捻出したいとのことにより、4回にわたり協議を行いました。

仙台市議会選挙において議会の2会派が選挙カー使用自粛の方針を決め、定数55名中約30人が自粛しました。

No. 18

**意見・質問・要望等**

①震災を踏まえて選挙運動の自粛について賛同します。今後も根本的に選挙の在り方を変えて欲しい。金のかからない、簡素化した選挙運動を願いたい。これまでの議会での話し合いについて詳細の説明願いたい。

②選挙運動の在り方について、自粛どこまでできるのか。

③新人候補者にも呼び掛けるのですか。【西根地区】

**当日の回答と現状**

①議会改革検討会議の中で『震災に向けた選挙の在り方』について、公費負担の請求を自粛した選挙を行うことで協議を行ってきましたが全体の合意を得ることはできませんでした。有志議員14名で自粛した選挙を行いました。

②選車は、出さないようにする。街頭演説会と広報ができる車を用意する。名前の連呼等は止める等それぞれの議員の判断で実施されました。

③新人候補者は、議長からお話ししていただきました。議長は私たちの取組みを具体的に聞いて、その方も賛同するようなお話をされたそうです。

No. 19

**意見・質問・要望等**

①公費を使わないと総額3500万円ぐらい浮くと聞いている。こういった大震災なので、議員全員でそうして欲しい。何故、議員全員で行わないのか。

②ポスターは貼るのか。【北郷地区】

**当日の回答と現状**

①全員できればそうしたいところであるが、個々の議員の考え方も違うのでそうはならなかった。議員有志で、選挙用自動車の使用・ハガキ代の公費負担を自粛したり、被災者の心情を考慮しての連呼をしない等を実施しました。14人で600万円ぐらい復旧復興にまわせたのではないかと思います。

②ポスターの設置は義務付けられるのでポスターは掲示しました。

No. 20

**意見・質問・要望等**

①応援弁士はいらないが、公民館で合同演説会をしたらどうか。

②選挙事務所は個々に設置するのか。【北郷地区】

**当日の回答と現状**

①公職選挙法上の制約もあり、議員自らではなく、各種団体等が主催すれば可能です。

②事務所はそれぞれの議員の考えで設置するかどうか決めました。

**(v) 議会報告会に関すること**

No. 21

**意見・質問・要望等**

議会基本条例制定により、議会報告会は重要になるという認識だが、成果良否検討すべきでないか。【角田地区(西・北ブロック)】

**当日の回答と現状**

まとめの段階である。改選後は、新しい形で接することができると思います。魅力ある報告会にしたいと思っています。

## [議会運営に関する意見、要望等]

No. 22

**意見・質問・要望等** 報告会も5回目という事で、議会の様子は伝わってきているが、市民の参加が今一つままならず、市民も利用していくという考えが大事だ。逆に広報の仕方を考えても良いのかなと思う。いずれ意見を述べる事が出来る事はよい事だと思う。【角田地区(西・北ブロック)】

**当日の回答と現状** 貴重なご意見、ありがとうございます。今後とも議会報告会の在り方については検討を重ね、より良いものにしていきたいと考えております。

No. 23

**意見・質問・要望等** 今回の議会報告会の全戸配布のチラシに『概ね1時間以内』と書いてある。1時間で終わる訳がない。【角田地区(田町・東ブロック)】

**当日の回答と現状** たいへん、誤解を招く表現で申し訳ありませんでした。住民の皆さまの意見は、すべて何うつもりでまいっていますが、「人間が集中して聴けるのは1時間程度」であろうとの考えから、皆さんの負担をかけないようにと、表記したものでした。お詫びいたします。

No. 24

**意見・質問・要望等** ①議会報告会は年2回行っているが、議員の都合で平日の16時と19時から行うのではなく、市民の都合に合わせて土・日曜日等にやって欲しい。今後どの様に進めていくのか聞かせて欲しい。

②議員も太刀打ちできないような質問を出来るように市民の意識を高めていくよう議員も働きかけてほしい。【角田地区(田町・東ブロック)】

**当日の回答と現状** ①震災があつて一時議会報告会を中止したが、約束通りとにかく議会報告会やってみようということで、今回の様な日程になってしまいました。もっと小さなブロック単位でやる事も含め、議会報告会のやり方について検討していきたいと思ひます。

②そのように議会基本条例に基づいて頑張っていきたいです。

## (vi) 震災に対する議会の対応に関すること

No. 25

**意見・質問・要望等** 市議会として原発に対する統一見解は出していますか。【角田地区(南ブロック)】

**当日の回答と現状** 現在のところ出していませんが、今後検討して参ります。  
『平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法』が平成24年1月1日から施行される予定で、今後、その中の基本方針を受けて取り組む予定です。

No. 26

**意見・質問・要望等** 今回の震災による角田市の被害総額は44億円相当と聞いている。市議会議員として国からの援助をもっと働きかけて欲しい。【横倉地区】

**当日の回答と現状** 市の予算だけで対応できる金額ではありませんので、さらに努力して参ります。国の第3次補正等の動きもあり、復旧復興については、市の持ち出し分がなく、交付税等の措置等が講じられるようです。

No. 27

**意見・質問・要望等** 放射能対策について議会としての動きを教えて欲しい。【角田地区(田町・東ブロック)】

**当日の回答と現状** 特別委員会の中で色々検討しています。また、6月定例会の一般質問の際に、複数の議員から放射能関連の質問がなされました。10月の初議会の時に、閉会中の継続調査事件として議決し、委員会単位で活動しています。

### (vii) 政務調査費に関すること

No. 28

**意見・質問・要望等** 政務調査費を返納したり行政視察を中止して、議会運営に支障は無いのか。また、インターネットを利用すれば、調査は出来るのではないか。【東根地区】

**当日の回答と現状** 公費の分は使用しないということです。自費での議員活動は今まで通りです。百聞は一見に如かず、先進地における取り組む姿勢を肌で感じるためにも必要です。大震災により今年度は休止しましたが、むしろ調査費は増やして欲しいと思っています。

No. 29

**意見・質問・要望等** 政務調査費や行政視察中止は、今年度だけなのか。【小田地区】

**当日の回答と現状** 今のところは今年度だけの措置です。「常任委員会の行政視察を2年に1度にしてはどうか」との意見もありましたが、それについては検討中です。

No. 30

**意見・質問・要望等** 政務調査費の返納については、条例改正か。寄附行為などの問題ないか。【西根地区】

**当日の回答と現状** 議員の権限として政務調査費は設けられていますが、今回は政務調査費は使用しないということで、返納したものです。条例遵守の下にその手続きを行いました。問題はありません。

### (viii) 女性農業委員の選任について

No. 31

**意見・質問・要望等** 女性農業委員2名選任されたことは大変良かったです。ありがとうございました。【藤尾地区】

**当日の回答と現状** 農業の分野においても男女共同参画社会の実現が急務だと言われております。市議会では、女性農業者の声を反映させ、女性の視点に立った地域農業の活性化につなげていただくことを目的に議会選出の農業委員については、一般公募により推薦しました。

No. 32

**意見・質問・要望等** 女性農業委員に2名しか応募が無かったのに、無条件でその2名を議会からの推薦にしたのは、無責任ではないのか。【東根地区】

**当日の回答と現状** 初の女性に限定した一般公募だったので、周知不足は反省している所で、今後さらに検討して参りますが、推薦した2名の方は、いずれも議会として責任を持って推薦できるとして選んでおります。

No. 33

**意見・質問・要望等** 女性農業委員の推薦について、今回が初めてか。今後は、更に女性農業委員の参加が増えて欲しい。【西根地区】

**当日の回答と現状** 女性農業委員が必要と数年前から意見があったが、今回初めて、女性2名を推薦できました。本来、公選で選出されるのが理想ですが、なかなか立候補する方がいないので女性立候補者出現を促す意味からも女性を推薦したものです。

## (ix) 議員活動に関すること

No. 34

**意見・質問・要望等** 議員定数が偶数だと、議長の議決権を行使できないのではないかと。【小田地区】

**当日の回答と現状** 議長は最初から可否を表明するのではなく、まず議員の可否をとります。可否同数になった場合には、議長が可否を明らかにします。

No. 35

**意見・質問・要望等** 《議会中継について》  
仙南2市7町の議会がインターネット上で議会中継されているのか。議員が一生懸命働いている姿を放映できないのか。【角田地区(田町・東ブロック)】

**当日の回答と現状** 現在のところは、市役所の市民ホールで、リアルタイムでのテレビ放映と、庁内イントラネットを使って、地区公民館での視聴ができることになっていますが、インターネットによる視聴はできません。費用的にも大変費用がかかるもので、議会としても最終目標としては、インターネットによるデマンド配信がベストと思っておりますが、今後検討してまいります。

No. 36

**意見・質問・要望等** 《諏訪神社の修理について》  
この震災により諏訪神社が被害を受けた。修理費用について神社の氏子さんに募っていたが、区長会では、神社の氏子さん方が、文書で市や教育委員会に、補助金の要望書等の文書を提出した方が良いのではという結果になりましたが、それについて議員各位の応援を頂きたいというお願いです。【桜地区】

**当日の回答と現状** この件は要望として持ち帰り検討し、当局にも報告します。その結果、8月定例会の一般会計補正予算に反映されました。

No. 37

**意見・質問・要望等** 《子ども図書館について》  
誰もいないのに冷房がついている。子ども図書館の建設について、皆さん賛成したのか。【角田地区(田町・東ブロック)】

**当日の回答と現状** 皆さんに利用していただける施設となるよう、議員も協力したいと思います。

No. 38

**意見・質問・要望等** 阿久根市のやり方はどうなのか。議会を無くして市長だけでやれるのか。【角田地区(南ブロック)】

**当日の回答と現状** それはやりすぎだと思います。政策は市長だけですべてできるものではありません。

No. 39

**意見・質問・要望等** 本来の震災名称は東日本大震災なのになぜ平成23年東北地方太平洋沖地震被害対策調査特別委員会となったのか。【角田地区(田町・東ブロック)】

**当日の回答と現状** 震災の名前は「東日本大震災」と呼び、地震の名前は「平成23年東北地方太平洋沖地震」と呼びます。特別委員会は、地震名から付けています。

No. 40

**意見・質問・要望等** 議会の存在感が見えない。【西根地区】

**当日の回答と現状** これからは市民の意見をまとめ政策を提案していくべきと考えています。そこで本年の議会基本条例の制定に至ったものでありますので、今後努力して参ります。

No. 41

**意見・質問・要望等** 行政視察を行わないとのことだが、行政視察は継続して必要と思うが詳細説明を願いたい。【西根地区】

**当日の回答と現状** 研修は必要であり、今年は経費請求しないが、自費で研修している議員もおりました。

